

環境教育特別委員会事業報告

1 「環境教育研修会A(幼児教育における自然体験教育実践篇)」

◆ 受講者55名

日程	会場	内容
6月17日(土) 9:30~12:00	ウイルあいち 会議室5 (名古屋市)	「環境・自然教育という視点で園庭を構成するには？」 ① 講師 園庭研究所 石田佳織先生 ② 質疑応答 ③ グループによる話し合い
9月2日(土) 9:30~13:00	牛川育英幼稚園 (豊橋市)	「幼稚園にて園庭環境をポジティブに遊び、感じ、学ぶ」 ① 講師 園庭研究所 石田佳織先生 ② 幼稚園の施設や環境を見学したり、実際に試したりして、幼児教育における自然教育・環境教育の具体的な実践をワークショップを通して学ぶ。
11月18日(土) 9:30~13:00	ももの木保育園 (幸田町)	「保育園にて園庭環境をポジティブに遊び、感じ、学ぶ」 ① 講師 ももの木保育園長 宇土敬子先生 ② 自然とともにある園生活を通して、長年にわたって子どもたちを育んで来た保育園にて自然を遊び感じ学ぶ

2 「環境教育研修会B(多様な視点からヒトと自然・社会の関係性を考える教養篇)」

◆ 受講者23名

日程	会場	内容
5月26日(金) 14:30~16:30	ウイルあいち 視聴覚ルーム (名古屋市)	「幼児期の環境(自然)教育総論」 ① 講師 環境教育特別委員会委員長 牧原東吾先生 ② 地球環境問題に対して、いかに幼児期の環境教育が重要なのか、幼児の育ちの姿を通して考察する。
7月14日(金) 14:30~17:00		「暮らしとエネルギー ~里山の生活からみえること~」 ① 講師 名古屋大学教授 高野雅夫先生 ② 電力自由化が進み、自分が使うエネルギーを自分で選択できる時代になった。エネルギーを選ぶことは、生き方を選ぶこと。里山の中で、できるだけエネルギーを自給して生きる生き方を紹介する。
10月27日(金) 14:30~17:00		「共に生きるということ ~外国人の子ども支援の現場から~」 ① 講師 特定非営利活動法人 トルシーダ 伊東浄江先生 ② 今では多くの外国人が共に暮らすことが当たり前になっている。地域や幼稚園、学校などが、どのように外国人を理解し、かかわり、共に生きていくのか。豊田市保見団地を始点に、20年にわたって外国人の子どもへの、発達段階に応じた支援を行ってきた経験と知見から学ぶ。

3 幼稚園の給食の放射能調査モニター事業を実施した。

- ・モニター園 6園実施
- ・5月~2月の間、各園8回(食)、総測定件数48検体陰膳測定
- ・測定機関「Cーラボ 市民放射能測定センター」2インチNaIシンチレーター(アロカメディカル社)で測定
セシウム137の検出限界の平均値は2.55ベクレル/kg、セシウム134は2.80ベクレル/kg
- ・測定結果 全食非検出

環境教育特別委員会事業計画

1 「環境教育研修会A(幼児教育における自然体験教育とその環境の構成実践篇) 計3回実施」

幼児期の環境教育の理論および自然体験教育の実技研修を今年度は特に自然体験に焦点を絞り、座学と実際の保育現場、自然の中での研修により、保育技術の向上を目指します。

日 程	会 場	内 容
6月16日(土) 9:30~12:00	森のたんけんたい (春日井市)	森のようちえんにおける春季の公開保育と研究協議会 ① 講師 森のたんけんたい 主催 小林直美氏 ② 森のようちえん「森のたんけんたい」において、春季の自然と関わり自分らしく過ごす園児と共に活動することを通して環境教育の実践に触れる。
9月8日(土) 9:30~12:00	月見幼稚園 (春日井市)	「幼稚園の園庭を用いた研究協議会」 ① 幼稚園の施設や環境を見学したり、実際に試したりする。 ② ワークショップをとおして、幼児期における環境(自然体験)教育の具体的な展開を学び合う。
12月8日(土) 9:30~12:00	森のたんけんたい (春日井市)	「森のようちえんにおける秋季の公開保育と研究協議会」 ① 講師 森のたんけんたい 主催 小林直美氏 ② 森のようちえん「森のたんけんたい」において、秋季の自然と関わり自分らしく過ごす園児と共に活動することを通して環境教育の実践に触れる。

2 「環境教育研修会B(多様な視点からヒトと自然・社会の関係性を考える教養篇)

現代の持続不可能な豊かさの価値観を超えて、幼児の生きる未来を見通した、持続可能な豊かさの価値観を探究する多様な思考力の向上を目指します。今年度はグローバルな視点で人の営みや環境について学びを深める一方、私たちが構築しなくてはならない子どもたちと自然の関わりの中での園庭についても改めて焦点を定め、国際理解教育、園庭と子ども理解という視点から、環境教育のあり方を深く考える研修会を3回実施します。

日 程	会 場	内 容
5月31日(木) 14:30~17:00	ウィルあいち 会議室6 (名古屋市)	「フィリピンミンダナオ島の事例を通してヒトと自然・社会の関係性を考える」 ① 講師 ミンダナオ子ども図書館 松居 友氏 ミンダナオ子ども図書館 学生 ② フィリピンミンダナオ島にて絵本の読み聞かせを通して生活支援、就労支援、難民保護などを行っている松居友氏が人種や宗教を超えて支援するその理由とは、貧困の中、松居氏の支援を受け懸命に学ぶ現地の若者が研修の中で自らの思いを発表します。現地で活動する立場、生活する立場から実際的な話を聞き感じる中で国際理解、環境問題について理解を深める。
9月28日(金) 14:30~17:00	ウィルあいち 視聴覚ルーム (名古屋市)	「環境教育における子ども理解 音楽と写真を通して」 ① 講師 音楽家 亀工房 (ヘビ研究者、ナチュラルリスト) 写真家 小西貴士 (写真家、絵本作家、森の案内人) ② 亀工房のハンマードルシマーとアコースティックギターによる幻想的な音楽に合わせて、写真家で森の案内人として子どもと活動する小西氏が撮影した森で過ごす子どもたちの写真スライドショーを通して、2組の講師から子どもらしさ、環境教育について話を聞き理解を深める。
11月9日(金) 14:30~17:00	ウィルあいち 会議室 (名古屋市)	「自然あふれる園庭環境の構成と活用」 ① 講師 小泉造園 小泉昭男氏 ② 13年間保育士として幼児教育の現場で子どもたちと過ごし、その後京都で造園業を起業した小泉氏。子どもと自然が共に過ごす命の場として園庭づくりを提案している。事例を含めて新たな園庭作りの可能性を学び合う講演会。